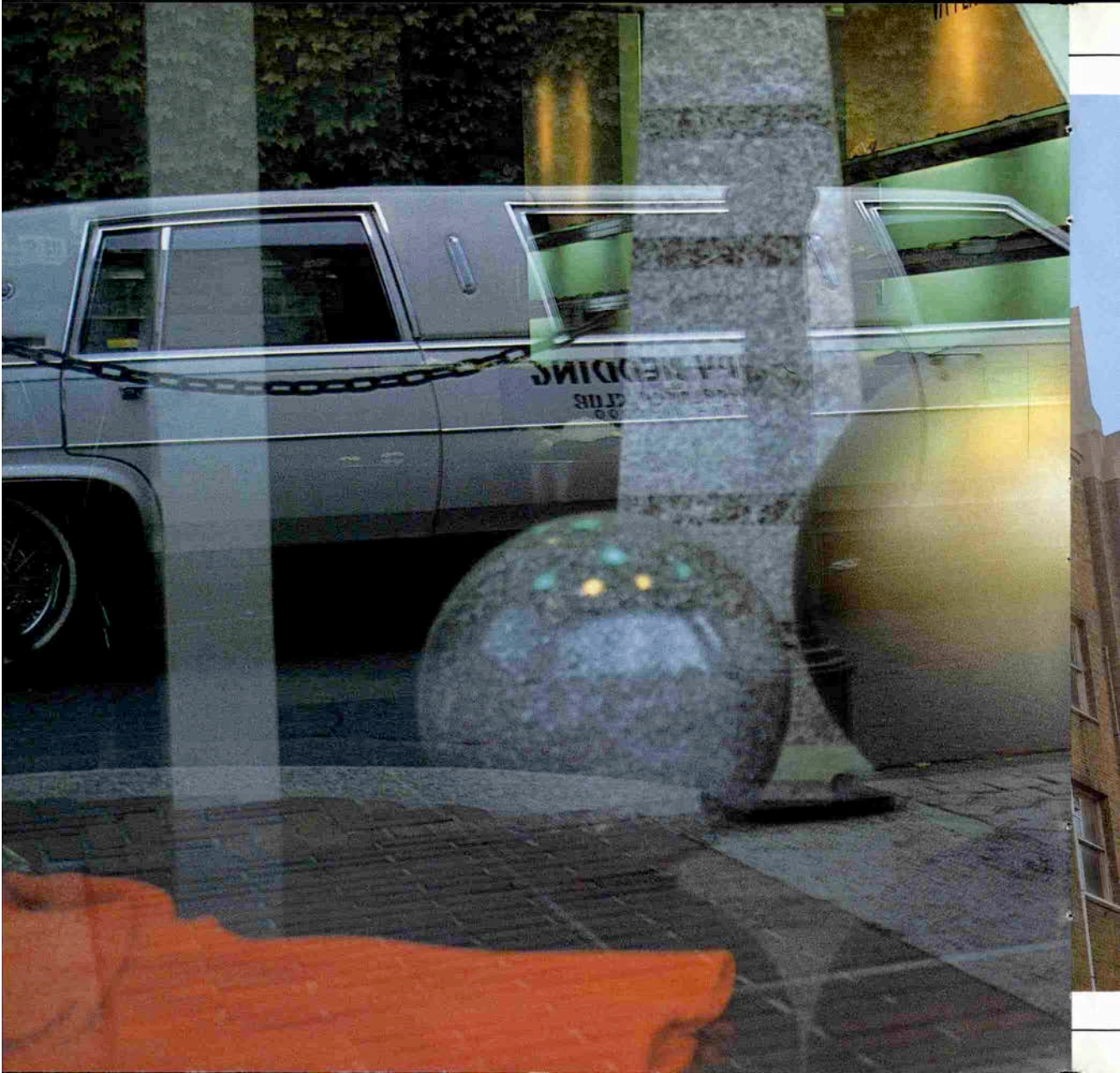
神戸新景

No.
14

P・小山　保



開港以来、インターナショナルな

ニューウェーブを、

いち早く取り入れてきた街、神戸。

旧居留地にある大丸では、

今も、その精神が息づいています。

3月2日㈭、ファッション フロアが、

リフレッシュオープン。

新しい表情を見せるゾーンで、

パリやミラノ、そしてロンドンの

生まれたばかりの春風に出会えます。

こんなに、神戸です。

DAIMARU KOBE
電話(078)331-8121

1～4階・地1階は7時まで営業
5階～屋上・地2階は6時30分まで営業

神戸の春の、開演です。

Spring Show

3月2日㊍ファッションフロアリフレッシュオープン。

●クロード・モンタナ／ジャケット(麻100%・別布 絹100%)95,000円／パンツ(麻100%)45,000円
ブラウス(絹100%)43,000円／3階ブティックアベニュー

SKETCH OF NISHIMULA COFFEE

一杯のコーヒーから

舞台に心奪われて――。

山田　五十鈴さんを訪ねて

〝にしむら珈琲〟が料亭に？　と驚かされるようなこの写真。実は国際会館で行われた〝三味線お千代〟の開演二分前の舞台上でのでき事。

〝にしむら〟のコーヒー豆を取り寄せて毎朝飲んで下さっている山田五十鈴さん。神戸公演の時は必ず楽屋へコーヒーの出前です。

この日も、ちょうどお伺いした時、「今から幕があくの。ちょっとここで一緒に撮りましょう。」と茶目っ気一杯の山田さんについ乗せられてしまいました。緞帳の向かいの大入りのお客様のどよめき！思わず興奮してしまうひとときでした。

それにしてもどうしてこんなに綺麗なのか。逢う度に聞いているのですが、今回は内面的なことに話を向けてみました。

――血液型は？

「何かと悩むことが多いA型です。でも七年前に精神性の胃潰瘍を患ってからは、一切クヨクヨしない事にしたの。」

――恋多き女というイメージがありますが？

「もう恋することが邪魔臭くなってきて…。それに今は、舞台に心奪われています。」

――大切になさっている言葉は？

「五所平之助監督が私に下さった〝生きる事は一すじがよし寒椿〟。十月には近鉄劇場で〝女坂〟を演ります。今度は、大阪まで、にしむらコーヒーの出前をお願いね。」

――ハイ、ハイ。（笑）

〈談〉

芝居の後、山田五十鈴さんお気に入りの石焼ステーキのみかげ館にて

左から遙くららさん、山田五十鈴さん、草笛光子さん、川瀬オーナー、曽我廼家明蝶さん、三田和代さん

にしむら珈琲店

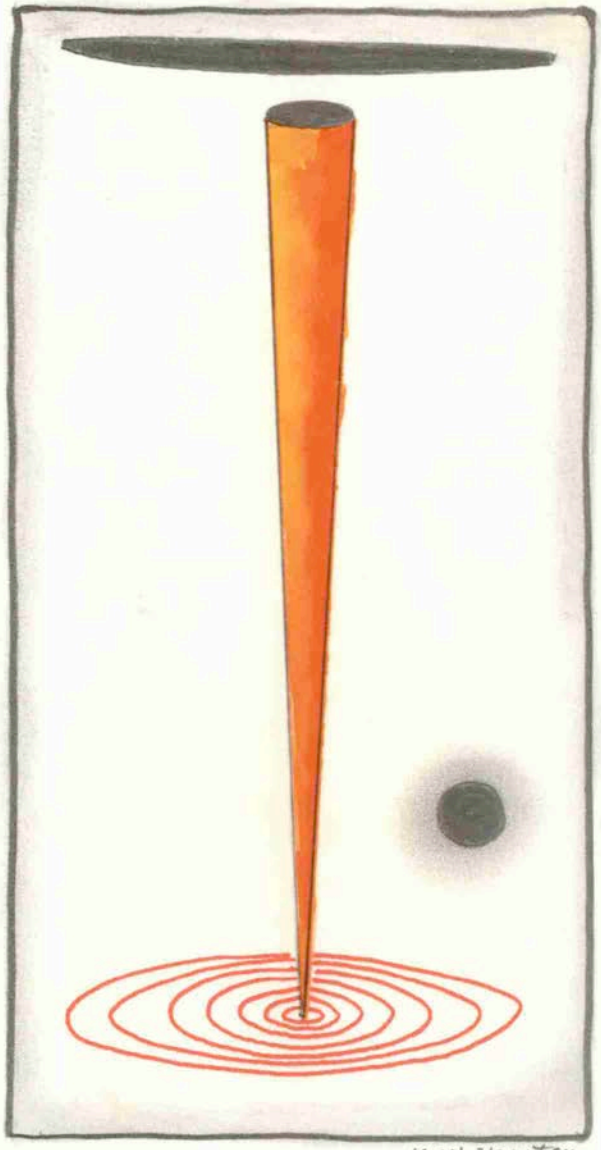
■中山手本店	TEL 221-1872	8:30AM～11:00PM
■北野店	TEL 242-2467	10:00AM～11:00PM
■三宮店	TEL 241-2777	8:00AM～11:00PM
■シェ・ラ・メールにしむら	TEL 242-2467	11:30AM～2:00PM 5:00PM～9:30PM
■石焼きステーキみかげ館	TEL 854-2106	11:00AM～ 2:00PM 5:00AM～ 9:30PM
■御影店	TEL 854-2105	8:00AM～10:30PM
■センター街店	TEL 391-0669	10:00AM～10:00PM
■芦屋店	TEL 0797-31-0580	8:00AM～11:00PM
■オールラウンドカフェ	TEL 332-5727	10:00AM～ 1:00AM
■O.B.P.店	TEL 06-947-5033	8:00AM～10:00PM

BASILE
MILANO

バジーレコレクション

Sanohe

ヌーベルサノへ〈元町1番街〉
TEL 078-321-1710



これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の心の手帖です。

3月号目次●1989・No.335

1 表紙／小磯良平
5 セカンドカバー／西村 功
9 第18回ブルーメール賞受賞者発表
〈美術〉松本 薫 〈舞台芸術〉久田徹二 〈文学〉森 榮枝
〈音楽〉広岡隆正 〈ファッション〉村上和子
15 神戸スナップ/神商議新会館完成披露パーティより
16 美の小箱／池田真規子 文・赤根和生
18 神戸新景／小山 保
29 わたしの意見／山崎正和
33 随想三題／こうのこのみ・名生昭雄・紫野京子
36 地域文化論／水谷 頴介
38 月刊神戸っ子28周年・神戸市制100周年記念対談／中井一夫(元神戸市長)
ＶＳ陳 舜臣（作家）「神戸100年を生きる」
44 第18回ブルーメール賞選考経過発表
54 経済ポケットジャーナル
56 トランペット片手にブラジル一人歩き(18)／右近雅夫
58 スポーツよもやま話／神鋼ラグビー部平尾誠二主将に聞く
60 珈琲飲みながら／大石邦雄
62 キャンペーン座談会／「神戸の文化創造を考える」
尾上久雄・水谷頴介・石阪春生
70 話題のひろば／①楠っさんを祝う会
②第13回神戸文学賞授賞式
72 タカラヅカ対談／岡田敬二・杜 けあき・鮎 ゆうき
76 ファッションスポット
84 神戸のお嬢さん／木村 薫・松山麻由子
86 ファッションウォッチング―ネオ・モーダメルヘンPARTⅡ／篠原順子
88 兵庫ウォーク／シロトピアと"唐・長安の文物"特別展
106 ふたたびプロフェッサーＰの研究室／岡田 淳
117 コーヒーブレイク
118 動物園飼育日記 〈279〉／亀井 一成
121 神戸の集いから
132 神戸を福祉の街に／橋本 明
134 神戸と留学生・その後を訪ねて（フランス）／臼杵百合子
136 有馬歳時記
138 猫じゃらし／ラッキー植松
140 モダンカルチャー
142 シネマ試写室／淀川 長治
144 神戸百店会だより
148 ぴっといん
150 ポケットジャーナル
153 ＫＦＳニュース
154 ショート・ショート★春を放つ／釜谷かおる 絵・藤原 護
158 第13回神戸文学賞受賞作品
連載小説「お夏」③／門田 露／絵・大橋良三
163 神戸っ子倶楽部会員情報
180ポエム＆コラージュ／金月炤子
182 海船港／夢・希望・躍動「北斗丸」出航
カメラ／米田定蔵・池田年夫・松原卓也
目次●絵／植松童二

La nostra specialita "Pizza Cittā Alta"

軽くて、速く焼きあがる、おいしい
イタリアン ピッツァ

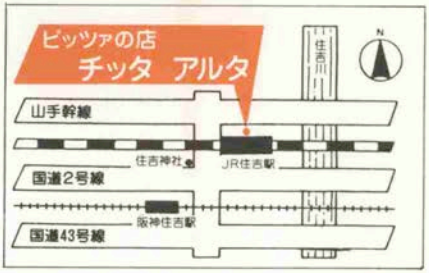
OPEN 3月3日

PIZZERIA
ピッツェリア

ピッツァタイム
平日 AM10:00〜PM5:00
各種ピッツァに
サラダ付

ミックスピッツァ
¥600
3分でお持ち帰りできます。

ローマ風ピッツァ ¥750
田舎風ピッツァ ¥750
ミートソースのピッツァ ¥750
4種チーズのピッツァ ¥750
ツナソースのピッツァ ¥800
ピッツァ チッタ アルタ ¥850
きのこと生ハムのピッツァ ¥900
四季のピッツァ ¥1,000
海の幸のピッツァ ¥1,200



ピッツァ チッタ アルタ
Pizza Cittā Alta

神戸市東灘区住吉本町1-2-1 住吉ターミナルビル(リブ)1F-3
TEL 078-854-5552 営業時間AM10:00〜PM10:00(年中無休)

SPRING COLLECTION

Graduation
Graduation Day Reception
Go On To College
Finding Employment

メリーヒル
ゲルラン
ボンフカヤ
シス
ルーブル・ブライダルサロン
ダイアナ
オフ
クロードレマ
タカノ
ココ山岡
三愛

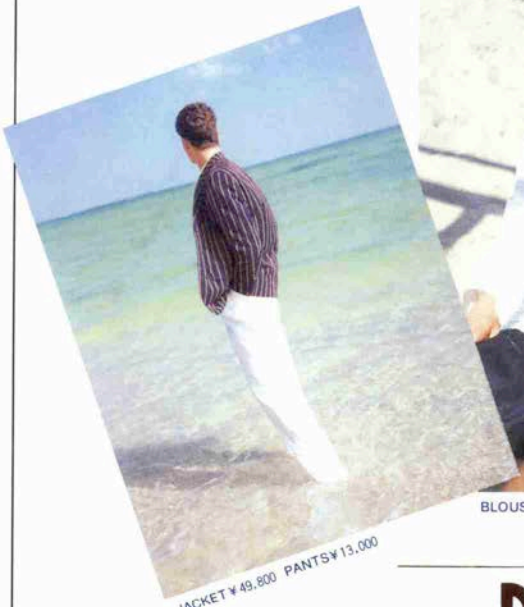
キャンディッド・マス
メイソングレー
フォーセット
ベネトン
ラッキーズ
ハニーハウス
イーストボーイ
靴下屋
フェアリー
チャイルドウーマン
リップスター
ペイトンプレイス
ヴィフ
バルチザン
クレヨン
マリークワント
アラブグレッツ
トゥエンティワン
ミシュー・エタム
Aug
リーフノット
アトモスフェール
ヴィッキー
カポ
キャトルセゾン
ハウスオブローゼ
花王ソフィーナ
ワコール
トリンプ
ラパブル
ミセラン
シエル

神戸・三宮、さんプラザ2・3F
センタープラザ3F
営業時間 am 11:00—pm 8:00
PHONE—078・332・1698

FASHION PARK

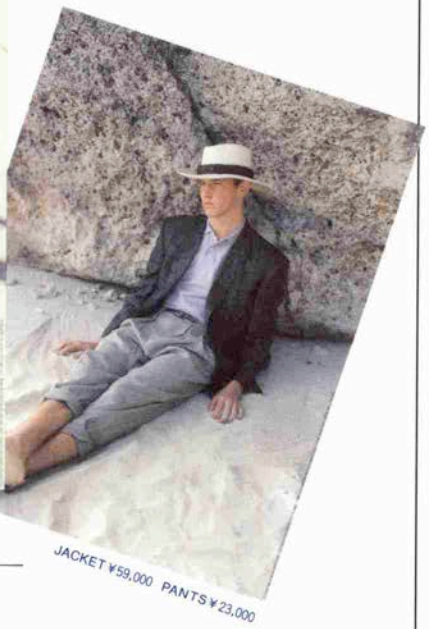
どんな場面にも遊びのスパイスを忘れない男たちのために
大人のカジュアル テイストをわきまえた服。
コーディネイトの楽しみを増やした、この春のドルチェ、ギア デ ドルチェが
あなたのもちまえの遊び心を刺激します。すこし違った自分を冒険してみて下さい。

ギア デ ドルチェ'89 春夏コレクション



JACKET ¥49,800 PANTS ¥13,000

BLOUSON ¥36,000 PANTS ¥12,000



JACKET ¥59,000 PANTS ¥23,000

DOLCE

FOR THE YOUNG AT HEART

MAC

2-10-22 SANNOMIYA-CHO CHUO-KU CITY KOBE 078-332-0141

MAC
SINCE 1895 KOBE

三宮本店／三宮センター街	(078) 391-0895	京都店／藤井大丸2F	(075) 211-0857
ブレザーショップ／トアロード	(078) 391-0896	姫路店／FESTA 2, 3F	(0792) 89-4738
ドルチェマック／三宮センター街	(078) 332-0141	宝塚店／宝塚南口サンビオラ3F	(0797) 71-4830

☆私の意見

ミュージカルを通して関西の文化的振興を！

山崎　正和
〈大阪大学教授・劇作家・評論家〉

来たる3月11日（土）から29日（水）まで、新神戸オリエンタル劇場にて、私の作・監修でミュージカル「ローマを見た！」を上演させていただきます。

以前から私のなかでは〝天正の少年使節〟という日本歴史上でも例の少ない冒険物語を、いつの日か芝居にしたいという思いがありました。若き少年達が長崎港を出発し、世界各地をかけ廻る。途中、様々な試練、困難に見舞われながら自分でもなぜと知らぬ衝動に駆られて前進し続ける若者達。つねにこの旅は無意味ではないかとおびえながら、それでも旅を続けるその姿は、私達すべての人間の人生に似ているはずです。

中国あり、インドあり、ヨーロッパありで各国の音楽舞踏を活かした多彩な舞台になります。ボブ佐久間さんの作曲、名倉加代子さんの振付という最高のスタッフを得て、これは日本のオリジナル・ミュージカルとして画期的なものになるでしょう。

近年、神戸を含む関西は文化的振興を問われ続けております。が、現状はなかなか楽観を許さないものと思われます。例えば、最近、松本幸四郎さんの主演で上演した私の『世阿彌』の観客数をみても東京では3万5000人。一方、大阪では3000人といった大きな落差が見うけられます。そうした現状のなか、昨年の新神戸オリエンタル劇場の出現は、大企業が地域文化に一石を投じたという点で大きな意味をもつ仕事といえます。今回、作者の私が監修として総括的な立場で深くかかわっていくのも、その志に応えて、せっかくの芽を育てていきたいと考えたからにほかなりません。

かつて劇団四季の『キャッツ』が梅田周辺に与えた文化的、経済的波及効果は記憶に新しいところです。神戸においてこれからは知的、情緒的基盤をもつ産業の成長が課題と思われます。そのためには町全体に文化的な香りが溢れ、文化的情報を発信しうる土壌が作られねばなりません。どうかこの神戸発のオリジナル・ミュージカルが神戸市民の熱い支援を受けられますようにと願っています。

ブルー・メール賞

★月刊神戸っ子28周年記念文化賞／第18回受賞者発表

副賞各拾万円
新谷琇紀制作
海の女神ブロンズ像

神戸の新鮮なイメージ創りをつづけて来ました月刊神戸っ子は、この三月号で創刊28周年を迎えました。これもひとえに皆さま方の暖かいご支援の賜と厚くお礼を申しあげます。

小誌は創刊10周年を機に、神戸の文化を推進するために文化賞「ブルー・メール（青い海）賞」を設定いたしました。本年、第18回を迎え、各部門別に選考会を開き、左記5人の方に賞をお贈りすることになりました。副賞には地元企業のご協力により各部門の受賞者に賞金拾万円と記念品（彫刻家新谷琇紀氏による海の女神のブロンズ像）が授与できることとなり、心から感謝の意を表します。

これからも地域社会の中から世界に通じる文化を育みたく、力いっぱい努力してまいりたいと思います。今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。

＜授賞式は4月4日（火）午後6時からポートピアホテル・大輪田の間で行ないます＞

□文学部門――選考委員　杜山　悠・田靡　新・河内　厚郎

森　榮枝

＜作　家＞

日本からきた一九人の観光客を「東」側にツアーさせる西ドイツに住む観光バスの運転手。作品は単なる紀行文にとどまらず、現地人の生活体験のにじんだ感性は鋭く、大人の眼。なによりも発想が柔軟。旅情をかきたてるほのぼのとした読後感は、実にすがすがしい。

＜田靡　新＞

□音楽部門――選考委員　柴田　仁・小石　忠男・出谷　啓

広岡　隆正

＜声楽家＞

広岡隆正は以前からフランス歌曲を得意として昨秋のリサイタル（10月7日、神戸文化中ホール）でも、大半をフランスの歌曲、オペラ曲で埋めていました。無理をしないで歌ったのが成功しました。一曲、柴田南雄「優しき歌」という難曲がありましたが、これが見事でした。

＜柴田　仁＞

□美術部門——選考委員　赤根和生・増田　洋・伊藤　誠・高橋　亨

松本　薫

〈彫刻家〉

注目すべき彫刻界の新人である。単に兵庫県内に於てのみでなく、トータル日本の場に於て、この人の将来性は大きい。いや〝日本のみでなく…〟と推したいくらいだが、目下持ち上げ過ぎになっても良くなかろう。要は当人の決意と実践にかかっている。

〈伊藤　誠〉

□舞台芸術部門——選考委員　佐野　漣箕・名生　昭雄・岡田　美代

久田　徹二

〈能楽師〉

能ではなんといっても面が精随である。妻が妊娠すると座右に美しい女面を掛け始終眺めさせる家訓すらある。胎内の時から能との縁を結び幽玄味にとむ三番目物をこなせる人になって欲しい願望なのだ。久田師はこの環境に育ち恵まれた肉体条件と天分を研鑽してきた。受賞を機に世阿弥のいう秘すれば花「寵深花風」を期待する。

〈佐野　漣箕〉

□ファッション部門——選考委員　福冨　芳美・荒津　正美・藤本ハルミ・小泉美喜子

村上　和子

〈ジャーナリスト〉

サンテレビジョンの制作現場で活躍するかたわら、「神戸の味どころ」「洋菓子天国KOBE」「吟醸酒図鑑」等のベストセラーを執筆。高砂市のブライダル都市宣言、神戸大丸での洋菓子天国展等の企画力と、ファッション都市神戸の生活文化イメージアップに貢献度は大きい。

〈小泉美喜子〉

★ブルー・メール賞協賛企業

財団法人　井植記念会
株式会社　そごう神戸店
UCC上島珈琲本社
株式会社　大丸神戸店
オールスタイル㈱
株式会社　太陽神戸銀行
株式会社　木下真珠
株式会社　田崎真珠株式会社
神戸地下街株式会社
株式会社　日本たばこ産業株式会社
株式会社　神戸風月堂
株式会社　ノーリツ
株式会社　シャルレ
株式会社　バンドー化学株式会社
神栄石野証券株式会社
株式会社　山勝真珠
角南商事株式会社
株式会社　ユーハイム
株式会社　ワールド

〈社名50音順〉

ご婚礼・お衣裳・お支度

美容室 エリザベス

三宮神社北東
TEL 078-331-8894(代)

フォーマル&ウェディング
レンタルブティック Elle
三宮店／TEL078-331-3258
岡本店／TEL078-413-0448

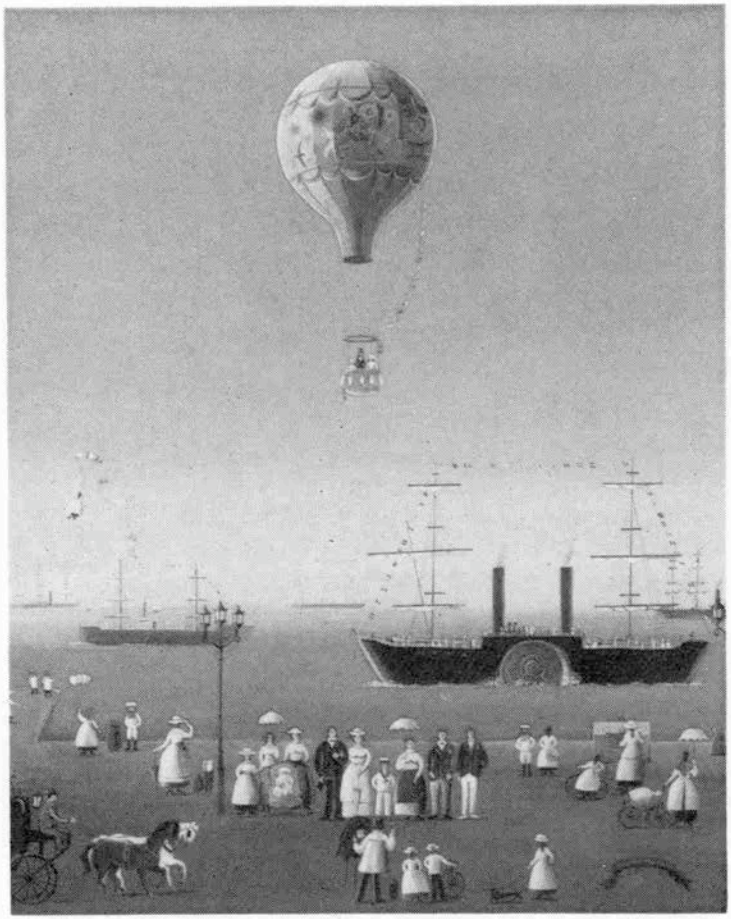
White Day
ときめきをありがとう。

あなたの贈った愛がみごとにかなったら
彼から〝ありがとうの愛〟が届く日。
ドキドキしながら待つあなたのために
ユーハイムは愛の贈り物を用意して、
彼のキューピット役をつとめます。
ホワイトデー、あなたの飛ばしたブーメランが
しっかりと返ってきますように——。

Juchheim's
ユーハイム

すみれ色の季節

絵と文／こうの　このみ



すみれ色の風にのって春がもうそこまでやってきました。
そして私、やってきました。
あこがれの神戸の街に、なつかしいやさしさが私をまっています。
パノラマにひろがる港々六甲の山々、
そしてなによりおいしいもの一ぱい!!
ありがとう!!
そして私、さよならします、
スーツケースに想い出を一ぱいつめて……

随想二題

兵庫の町を歩こう

名生 昭雄
〈郷土史家〉

JR兵庫駅のプラットホームから南方に兵庫の町並みが拡がる。和田岬線の線路の向こうに旧国鉄用地が空地となっている。江戸時代にはこの辺りは、兵庫津の区域外の田地であった。元禄九年（一六九六）の古絵図には、かなり詳しく町の様子が描かれている。兵庫津の中心部には堀をめぐらした「御屋敷」がある。これは尼崎藩の兵庫城で、明和六年（一七六九）に幕府の直轄領となるとその勤番所となった所である。ずっとのちになるが、明治元年に最初に兵庫県庁が置かれたのもこの場所である。初代知事伊藤俊輔（のちの博文）が若冠28歳で政務をとった所である。この兵庫城の左手（南）に須佐ノ入江がある。そのほとりに薬仙寺や真光寺が広い寺域で記されている。須佐ノ入江から北へ向かって兵庫の市街地を包む堀があり、外輪堤が続いている。この堀が北方の佐比江で外海とつながっている。

兵庫城の右手（北）には内海があり、それに沿って「来迎寺」が記されている。来迎寺は築島寺で今の位置とは変っていない。外海への水路に橋が架かっていて、そのたもとに札場がある。兵庫津には寺が多い。しかも外輪堤に沿って設けられている。なかでも能福寺、福海寺、福厳寺は広大な寺域をもっている。

薬　仙　寺

兵庫津への出入口は、湊口、算所口、長沢口、三川口、柳原口が描かれている。湊口は京から発する西国往還の入口であり、そこには惣門が設けられ、番所、札場もあった。湊口惣門をくぐって江川町、木戸町、木場町、小物屋町、北中町、南中町で右手（西）へ折れる。ここが札場ノ辻であり、そこから、小広町、神明町、逆瀬川町、東柳原町、西柳原町へ来て、柳原惣門をくぐって柳原口から西国へ向かうのである。この絵図の方位は札場ノ辻を中心に線引きされているので、そこが街の中心点であったと思われる。算所口、長沢（永沢）口からは丹生山田（今の北区山田町）へ、三川口からは鵤越への道が通じていた。

歴史のある町は、今の町名をたどるだけでも楽しい。かつて札場ノ辻にあった道標が、真光寺の境内に保存されているのをみると、何かしら語りかけたくなる。湊八幡神社の迷い子石はどんな風情を眺め、味わって来たのだろうか。

歩こう！

兵庫の町を。

随想二題

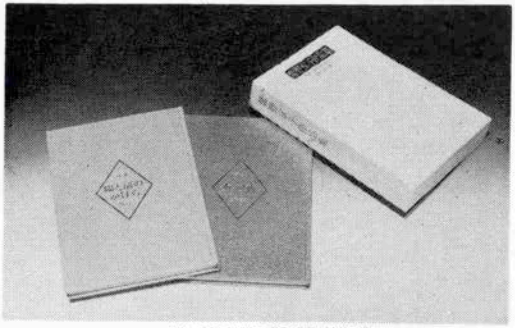
ふつうのひとからの手紙

柴野　京子
〈詩人〉

精励勤勉であることが、最もすぐれた人間の資質であるように、これまでの社会では思われてきた。コツコツと利潤追求のために、日々刻苦して働くことが、世界地図の中では、たかだか二、三センチにすぎないこの日本列島が、世界においても最強国の仲間入りするようになったことに、多大な貢献をしていることは否めない。

詩人と呼ばれる種類の人間は、(但、すべてではないが)その意味では理想の姿とはほど遠いのであって、もしかすると一日中でも寝転がって、雲がゆっくり流れてゆくのを眺めていることさえ、幸せだと思える人間のような気がする。それを大っぴらにいうことが出来ないから、(驚くべきことに今の世の中では、子供でさえ「夕焼がきれいだね。」というと、同じ子供仲間のうちで「それがどうした?」とか、「おまえ、あほか?」といわれるそうで)「私は詩人です」などということは決していわず、ごく平凡な社会人のような顔をして生きていることが、この種の人間にとっては美学なのである。

自分の中に常に相反する二極間で揺れ動くものがあって、はじめはほとんど気づかず、やがて何かがおかしいと思い出し、次第に大きくそのはざまで、振子のように揺れ続けている。その振幅の間でどのようにバランスをとるかということで、知らず知らずのうちに身についたことが、書く(あるいは描く)ことだったような気がする。その意味では、私にとって詩作は、その振子の中心、シーソーの支点のようなものなのかもしれない。



柴野京子作品集(月草舎刊)

こつこつと枠の中の枡(ます)を埋めてゆくことが目的である生き方よりも、ひとつの目的を持ち、その目的に達するために必要ならば、そこに至る枡目を埋めてゆく生き方の方が、人間本来のあり方のように思えるし、私はそのようにしか生きられない。

私にとっての詩は、落書→日記→手紙という道筋を辿るようで、「ふつうのひと」である私は、つい最近までまったく読み手を意識することなく、自分のためにのみ書いていたような気がする。しかし私の詩集が手紙である以上これからは他者を想定して書くことを自らにいい聞かせているこの頃である。そしてその手紙を読む人々の心の片隅に、ほのかなあかりを点(とも)すような言葉が、いつも充ちてくる私でありたいと願っている。

地域文化論

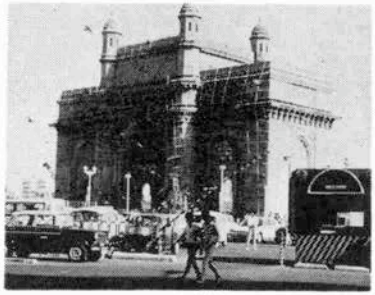
〈その115〉

港町・ボンベイ

水谷　頴介〈都市計画家・建築家〉

やっぱり壮麗だったタージ・マハル（一六三〇―五二）とこれこそ地元産のインド赤砂岩だなとまず感じさせてくれたアグラ城（一五六五～）から出発して、全体も細部も見事な空間意匠のファテプル・シクリ（一五八〇）、アンバー城（一五九二～）が白亜にそびえそして三三Mの大通りやシャンタル・マルタル（天文台）や風の宮殿（一七九九）が並ぶ町並みを九つの正方形のマンダラのかたちで配置したピンク・シティと呼ばれるジャイプール（一七二八～）、マハラジャの生活が現代におよぶウメッド宮殿（一九二九―一九四四）も魅力的で難攻不落だった城をもつジョドプール（一四五九～）、砂漠の中の城塞都市すべてが黄砂岩で彫りぬかれたコールデンシティのジャイサルメール（一一五六～）、人造湖に浮かぶレイクパレス（一七五四）とシティパレスの対面が見事なウダイプール（一五五九～）と、満天の星空のもと果てしなくインド砂岩がつづく大地に築かれてきた〈ラジャスタン〉の藩王国の街々を訪ね歩いた間の夢が、大都市ボンベイに突入したとたん、破れてしまった。

朝もやの空から地上に近づくと、空港の裏には、仮設家屋がぎっしりと建て込んでいる。空港から外へ町へ出ていくと、生活の糧を求めて地方を離れて大都市へ出かけてきた限りのないホームレスの人々が、町のあちこちに群居している。また、汚れやすくすでに汚れきってしまったコンクリート家屋が密集しているのに対面すると、同じように安易なコンクリート建築の建設が進行し続けている我が日本の都市の将来像が垣間見えてぞっとしてしまう。



▲インド門

夢が破れたとなるとすぐさま、このボンベイで限られた日時のうちにぜひ見聞しておかなければと想う現代都市問題がもたげてきた。第一は、英領時代の屋敷街―コロニアルスタイルの住宅がいまどんな様なのだろうかという興味だった。そしてマラバーヒル（MALABAR HILL）へと車を走らせた。いくつか立派な館が残されているがそれはもはや住宅でなく事務所や公的な施設に使用されていて、多くは高層マンション建設の宅地に利用されている。シンガポールや香港のような状景である。第二は、海岸線と港や町の変化過程である。東インド会社がボンベイを借地した時期とはずっとずれるが一八一六年と一八七〇年、そして現代の地図を比べてみた。一八一六年にはフォート地区の城壁が残っているが、それが取り壊された後に、高等裁判所（一八七八）やボンベイ大学が建設されたらしい。城壁の外周がかつての神戸の東遊園地のような姿で広場になって緑のベルトとなっている。港は半島の西、アラビア海側には当初からつくられなくて、東側―ボンベイ湾に沿って埋立られて造成され、埋立地のすぐ裏を市街地に沿って港への引込線をともなって鉄道が付設され、城壁の北端にヴィクトリアステーション（一八八八）がつくられている。西側はチャーチゲートステーションの外側のナリマンポイントが新しく埋立られて高層ビルが並んでいるが、あとはすべて砂浜もある自然海岸であり、マリンドライブの街路灯が海岸線に沿う光景が首飾りのように見えるのでクィーンズ・ネックレスと呼ばれている。第三は、都心における歴史的建造物の構成である。都心街区夫々の風景核となっている英国領事時代の立派な行政施設が現在のインド市民にどう感じられているのかを確かめるまでにはいたらなかった。

春まつり

3/13〜3/15

スピードくじにて
サービス券が当たります
(金券・ビール券)

❶Fビヤホール「WELL(ウェル)」
●営業時間(平日)11:30a.m.〜 2:00p.m.
4:00p.m.〜11:00p.m.

❷F居酒屋「さがみ」
●営業時間(平日)4:00p.m.〜11:00p.m.

❸Fパーティルーム
●洋室15〜50名様用

ご相談・ご予約はお気軽に
078-391-4511

神戸元町ニュートキワ
TEL 078(391)4511(大代)

キタノナイト
スペシャル

春の夜に
ステキな
ヴォーカルと
お料理を

アンリ菅野ショー

3月17日(金) 第1部 PM 5:00
第2部 PM 7:00

チケット発売中

出演 アンリ 菅野
演奏 武田 一彦 カルテット
料金 ¥20,000(税・サービス料込)

☆フルコースディナー・フリードリンクス

プログラム
- 慕情
- スクリーンメドレー
- 越路吹雪メドレー
- ジャズメドレー
- 愛の賛歌他

料理
- 帆立貝のコンフィー野菜添えと蟹のゼリー寄せ円舞仕立
- グレープフルーツのスープ冷製
- イトヨリのロースト三色ピーマンの香り
- 神戸牛フィレステーキ
- コーヒー・お菓子
- シャーベット

ご予約
078
(222)5123迄

レストラン 北野クラブ
Phone:222-5123